

課題	テーマ	これまでの課題	これまでの取り組み	見えてきた課題	今後の試み
海の生き物をとりまく課題	ごみ・流木の問題	<p>問題の構造の共有からの解決策への発展</p> <p>他部会との認識共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成25年）流木、人由来、生物影響ゴミの3種類を調査し、発生源を検討した。 （平成26年）西の浜と佐久島で他団体や山・川部会メンバーと連携してごみ・流木調査を実施し、漂着ごみの実態把握と問題意識の共有化を図ることができた。 （平成27年）山部会と協働して、東幡豆のトンボロ干潟周辺のごみの現状を確認した。 （平成28年）海ごみ・川ごみの問題について、全国的な活動を実施している一般社団法人JEANおよび全国川ごみネットワークから、ごみ問題に関する最新の知見について、情報共有を行った。 （平成28年）愛知県が取り組むごみ学習プログラムの内容について情報共有を行った。 （平成29年）22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会主催の「藤前干潟エクスカージョン」に参加し、藤前干潟の清掃活動やごみ焼却場を見学した。 （令和元年）22世紀奈佐の浜プロジェクトの進捗状況が周知され、マイクロプラスチックの問題について情報共有した。 	<p>目に見えるごみから、目に見えないマイクロプラスチック等の問題の共有</p>	<p>奈佐の浜プロジェクト等に目を向けた参加も視野）現状の把握</p>
	豊かな海の生物調査	<p>他部会を巻き込んだ調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成25年）ハンドブック等を活用して、東幡豆天然干潟、西浦地区人工干潟の2地点において、生き物調査を実施した。 （平成26年～平成29年）三河湾の干潟・浅瀬造成に関する行政計画や事業内容、愛知県が実施した海底ごみ・生き物調査の結果を情報共有するとともに、鳥類調査を通じて干潟や背後の土地利用の問題を共有した。 （平成27年）山部会と協働して、干潟の試験造成後の生物相の変化を確認した。 （平成29年）海の栄養塩の問題に関する最近の話題として、流入負荷削減と海の水産資源の関係性について学んだ。 （平成29年）八郎潟や油が淵での水質浄化に関する研究事例と水質浄化対策の技術的課題について情報共有した。 		
	豊かな海の再生	<p>「透き通った海＝豊かな海」であるという疑問の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成30年～令和元年）アサリの減少原因を追究されている吉田漁業協同組合の石川組合長より、三河湾の現状について報告いただいた。 （平成29年～平成30年）合同部会では、三河湾の現状を山部会、川部会に対して情報共有を行った。 （令和元年）矢作川浄化センターを見学し、栄養塩の試験放流の進捗状況を確認した。また、試験放流による水質の変化について情報共有した。 	<p>「透き通った海＝豊かな海」ではないという認識の周知</p>	<p>流域のイベントや市民部会を通じた「豊かな海」の情報共有と発信</p>
海と人の課題	海と人の絆再生	<p>海部会が主導となる活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成26年）さまざまな場面でのアンケート調査等を通じて、子どもや保護者の海に対する意識やニーズを把握することができた。 （平成27年）山部会との合同会議では、漁業者との懇談を行い、水質や砂の問題や新たな担い手の問題を検討・共有した。 （平成28年～令和元年）流域のイベントへの参加（奥矢作森林フィスティバル、矢作川感謝祭、三河湾大感謝祭）によって、三河湾（海）の生き物が身近なものとなった。 	<p>継続した啓発が必要</p>	<p>海の生き物に触れ合うことによる上下流連携の継続</p>
	干潟・ヨシ原生	<p>ダムの上砂投入実験の範囲拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> （平成25年）矢作川河口干潟の生き物調査及び矢作ダムの砂の実態調査を実施した。 （平成26～平成27年）矢作ダムの砂を活用した干潟造成の試験施工について、関係機関の協力を得て実現した（H27.3.10矢作ダム砂の投入）。 （平成27年～平成30年）干潟の試験造成後の生物相の変化を簡単な調査を行いながら意見交換を行った。 		

海部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成23年度	10月12日	WG海	第1回海の意見交換WG	9	【意見交換】 ○漁業関係者、企業等の巻き込み方に関する意見・提案 ○市民の巻き込み方に関する意見・提案 ○やってみよう課題(案)について
平成23年度	12月15日	WG海	第2回海の意見交換WG	19	【意見交換】 ○西三河支部漁協組合長との意見交換 ○海地域等における懇談会メンバーと海の民(漁民)との連携方法
平成23年度	2月16日	WG海	第2回海の意見交換WG	10	【意見交換】 ○ごみ・流木調査について ○生きもの調査について
平成24年度	4月21日	WG海	第1回海部会WG	資料なし	【その他】 ○矢作川ヨシ植え作業
平成24年度	7月5日	WG海	第2回海部会WG	12	【意見交換】 ○平成24年度の行動計画とその具体化 ○漁協連携や進め方などについて
平成24年度	7月7日	WG海	第3回海部会WG	資料なし	【その他】 ○三河湾環境再生プロジェクト「海の観察会」参加
平成24年度	8月12日	WG海	第4回海部会WG	17	【現地視察】 ・矢作川流域圏の海地域一帯を視察 ・矢作川河口部右岸(碧南市側) ・人工干潟(おさかな広場西側) ・一色衣崎海岸 ・(経由)矢作古川河口部・吉田海岸 ・吉良歴史民俗資料館 ・東幡豆漁港
平成24年度	9月8日	WG海	第5回海部会WG	資料なし	【その他】 ○22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 答志島奈佐の浜海岸清掃
平成24年度	11月5日	WG海	第6回海部会WG	14	【意見交換】 ○ゴミ、流木の課題について ○生き物調査について ○海と人の絆再生(アクセス改善)について
平成24年度	12月11日	WG海	第7回海部会WG	24	【意見交換】 ○課題の今後の対応について ○その他の課題の取扱いについて ○次年度以降の活動方針、流域連携テーマについて
平成25年度	5月20日	WG海	第8回海部会WG	20	【意見交換】 ○今年度の海部会WGの活動方針、活動内容について
平成25年度	6月22日	WG海	第9回海部会WG	14	【意見交換】 ○今年度の海部会WGの活動計画 ○ごみ・流木調査プレ調査の実施方針について
平成25年度	7月20日	WG海	第10回海部会WG	13	【現地調査】 ○ごみ・流木プレ調査 - 佐久島白浜海岸 -
平成25年度	8月5日	WG海	第11回海部会WG	17	【現地調査】 ○生き物調査 - 東幡豆町天然干潟、西浦地区人工干潟 -
平成25年度	9月9日	WG海	第12回海部会WG	21	【現地調査】 ○三河湾 水質調査(水温、塩分、DO、クロロフィル)
平成25年度	9月27日	WG海	第13回海部会WG	9	【現地調査】 ○ごみ・流木調査)本調査 - 矢作川左岸 14.5K付近 - 9月中旬の台風に伴う出水によって堆積したごみ・流木
平成25年度	10月7日	WG海	第14回海部会WG	14	【現地調査】 ○干潟生き物調査 - 矢作川河口干潟(0.6K付近左岸 -
平成25年度	11月27日	WG海	第15回海部会WG	21	【現地視察】 ○矢作ダムの流入土砂の状況 ○土砂受入地の榊野地区の受入状況
平成25年度	12月26日	WG海	第16回海部会WG	15	【意見交換】 ○H25年度の活動とりまとめ ○次年度の活動方針
平成26年度	5月19日	WG海	第17回海部会WG	18	【意見交換】 ○今年度の活動計画について ○市民企画会議からの報告、流域連携テーマの担当者について ごみ・流木:伊勢・三河湾流域ネットワーク)井上氏 土砂:大阪大学)青木座長 名城大学)鈴木副座長 木づかい:東幡豆漁協)石川組合長
平成26年度	6月15日	WG海	第18回海部会WG	30	【現地調査】 ○ごみ・流木調査本調査=西の浜海岸 ※22世紀奈佐の浜プロジェクト「西の浜エクスカーション」との同時開催
平成26年度	7月22日	WG海	第19回海部会WG	21	【意見交換】 ○ごみ・流木調査の結果と今後の進め方 ○子供の干潟体験イベント 【講義】 ○干潟・浅場造成に関する検討状況(三河港湾事務所) ○三河湾環境再生プロジェクト行動計画(名城大学 鈴木副座長)
平成26年度	8月9日	WG海	第20回海部会WG	5	【その他】 ○東幡豆漁業組合主催の干潟観察会に参加(8/12にも開催)
平成26年度	9月5日	WG海	第21回海部会WG	13	【現地視察】 ○鳥類から見る海の調査 - 衣崎漁港、矢作古川河口 - (西三河野鳥の会 高橋氏) 【意見交換】 ○鳥類から見る海の調査の感想 ○干潟観察会の結果
平成26年度	10月11日	WG海	第22回海部会WG	13	【現地調査】 ○佐久島白浜海岸でのごみ・流木調査 ※愛知県主催「佐久島の海岸でわくわくビンゴ&アート体験」との同時開催
平成26年度	11月19日	WG海	第23回海部会WG	20	【意見交換】 ○愛知県)西浦人工干潟の土壌改善に向けた情報提供 ○三河湾干潟造成に向けた検討
平成26年度	12月17日	WG海	第24回海部会WG	15	【意見交換】 ○愛知県)三河湾の海底ゴミ、生き物調査について ○三河湾干潟造成に向けた検討
平成27年度	6月6日	WG海	第25回海部会WG	20	【意見交換】 ○ごみ・流木問題の活動方針について ○豊かな海の生物調査の活動方針について ○海と人との絆再生の活動方針について ○干潟・ヨシ原再生の活動方針について

海部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成27年度	8月20日	WG海	第26回海部会WG	19	【意見交換】 ○山部会との合同WGについて ○造成干潟のモニタリングについて ○造成後の地形変遷の計測方法、市民への啓発方法について
平成27年度	9月13日	WG海	第27回海部会WG	4	【その他】 ○海のいきもの調査隊(西尾市)への参加
平成27年度	12月25日	WG海	第27回海部会WG	16	【意見交換】 ○干潟・ヨシ原再生について 矢作川における河道掘削で生じる土砂を干潟造成に活用 ○ごみ・流木の問題 ごみマップによる情報共有) ○海と人との絆再生 『砂の駅の実体化』について ○豊かな海の生物調査について 造成干潟における生物モニタリング調査の時期、活動主体について
平成28年度	4月27日	WG海	第30回海部会WG	16	【意見交換】 ○活動計画について 【現地視察】 ・矢作ダム堆砂砂を利用した造成干潟(東幡豆)
平成28年度	6月21日	WG海	第31回海部会WG	18	【意見交換】 ○宍道湖の漁獲回復に関する事例紹介 ヤマトシジミの漁獲減少に対する対策 ○海の水質調査について ○「奥矢作森林フェスティバル」への参加について 東幡豆漁協石川組合長 海の生き物展示
平成28年度	11月2日	WG海	第32回海部会WG	26	【意見交換】 ○東幡豆干潟造成箇所のモニタリング調査結果報告 ○矢作川河口干潟造成箇所のモニタリング調査結果報告 ○川ごみ・海ごみ対策について JEAN、全国川ごみネットワークから近年のごみ問題について話題提供
平成28年度	12月20日	WG海	第33回海部会WG	16	【意見交換】 ○西浦での矢作ダム砂を使った試験区の経過(愛知県水産試験場) ○小学生向けゴミの学習プログラムの紹介(愛知県資源環境推進課) ○矢作ダムの直下で実施されている給砂実験の紹介
平成29年度	6月24日	WG海	第34回海部会WG	19	【現地調査】 ○藤前干潟の清掃活動の参加
平成29年度	8月21日	WG海	第35回海部会WG	19	【講義】 ○鳥と海の環境について(西三河野鳥の会 高橋氏) 【現地視察】 ○トンボロ干潟の造成箇所の確認 ○鳥の観察
平成29年度	12月13日	WG海	第36回海部会WG	20	【意見交換】 ○海の栄養塩に関する最近の問題について(鈴木副座長) アサリの漁獲量の減少の要因に関する情報共有 ○水質浄化に関する最近の研究事例(井上氏)
平成30年度	7月30日	WG海	第37回海部会WG	20	【現地視察】 ○吉田海岸のアサリ漁場(吉田漁業協同組合 石川組合長) 【意見交換】 ○愛知県水産試験場の調査結果の概要説明(石田氏) アサリの減少と陸域から供給される栄養塩の関係について ○合同部会の開催について
平成30年度	10月24日	WG海	第38回海部会WG	19	【現地視察】 ○吉田海岸のアサリ漁場の現地視察(吉田漁業協同組合 石川組合長) 【意見交換】 ○アサリの漁獲量の減少と栄養塩の関係性 ○海部会の9年間のまとめについて
平成30年度	12月19日	WG海	第39回海部会WG	17	【意見交換】 ○矢作川浄化センターの管理運転による海への影響 ○三河湾で不漁となったアサリの餌となるケイ藻のいま(井上氏) ○9年間のまとめ
平成31年度	8月7日	WG海	第40回海部会WG	22	【意見交換】 ○今年の三河湾におけるアサリの生息状況と海の環境(東幡豆漁協石川組合長、吉田漁協石川組合長)
平成31年度	9月18日	WG海	第41回海部会WG	20	【意見交換】 ○三河湾事務所における海の環境改善の取り組み ○今年の海の環境について(吉田漁業協同組合 石川組合長)
平成31年度	12月19日	WG海	第42回海部会WG	19	【現地視察】 ○矢作川浄化センター(愛知県西三河建設事務所 都市施設整備課 山本課長 ほか) 【意見交換】 ○のり漁場における近年の水質の変化について(吉田漁業協同組合 石川組合長)
平成23年度	7月2日	勉強会	第3回勉強会(海地域)		【現地視察】 ○一色干潟の見学 ○人口干潟(一色さかな広場西側海岸)の見学 ○矢作川干潟再生箇所の見学 ○矢作川浄化センター放流渠の見学
平成24年度	12月11日	勉強会	第9回勉強会	27	【講義】 ○技術市民から見た海の課題と対策技術案(伊勢三河湾流域ネットワーク 井上氏) ○三河湾の夏期における魚介類資源の現状(愛知県水産試験場 蒲原氏) ○三河湾における環境問題とその対応(名城大学 鈴木副座長)
平成27年度	9月25日	WG合同	第28回海部会WG (山部会WGとの合同)	28	【意見交換】 ○漁業組合、漁業者の方々と懇談 →漁業関係者から干潟、後継者不足等の漁村が抱える問題についての情報提供 【現地視察】(9/26) ○トンボロ干潟周辺踏査 トロンボロ干潟～前島を踏査し、ごみ・流木の状況を把握 矢作ダムの堆積砂を用いた造成干潟の現況観察(形状把握のためのリングの埋設)
平成30年度	8月24日	勉強会	合同部会	45	【発表テーマ】 ○アサリはなぜ減少したのか？(名城大学 鈴木氏) ○シジミ、アサリを増やす森と里からの湧水(伊勢・三河湾流域ネットワーク 井上氏) ○矢作川本川の水質と流域構造を知ろう！(大同大学 吉川氏) ○矢作川中流域の水質を知ろう！(豊田市矢作川研究所 白金氏 蔵治氏) ○森林が変化すると水質はどう変化する？(東京大学 蔵治氏)